

令和7年9月議会

No. 150

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和7年10月20日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

木城町 議会だより IKAI

もくじ

◆臨時会・定例会報告	2
◆一般質問(3名登壇)	6
◆議会活動報告	9
◆まちの話題	12



委員長

令和6年度の一般会計他について決算報告がありました。
議会では決算審査特別委員会を設置して内容を審議しました。



第6回 臨時会

令和7年第6回臨時会は、6月30日の1日間の会期で開催され、一般会計補正予算と工事請負契約が提案・可決されました。

一般会計の補正内容の歳入につきましては物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が288万円、その他雑入として150万4,000円が計上されました。

歳出につきましては2回目のプレミアム商品

券助成に550万円、内閣府の個別支援避難計画作成モデル事業の「在宅サービスBCP支援システム」を導入するための委託料121万円です。

工事請負契約については、多世代交流・子育て支援施設(子ども交流センター)の新築工事請負契約です。契約金額4億6,310万円です。

※1 「在宅サービスBCP支援システム」とは、災害が発生したときに在宅サービスの継続をするための支援システムです。

令和7年第7回定例会は、9月5日から8日間の会期で開催され、令和6年度一般会計及び特別会計の決算認定、令和7年度一般会計補正予算など町長より提案されました全23議案を認定、可決、同意、適任としました。

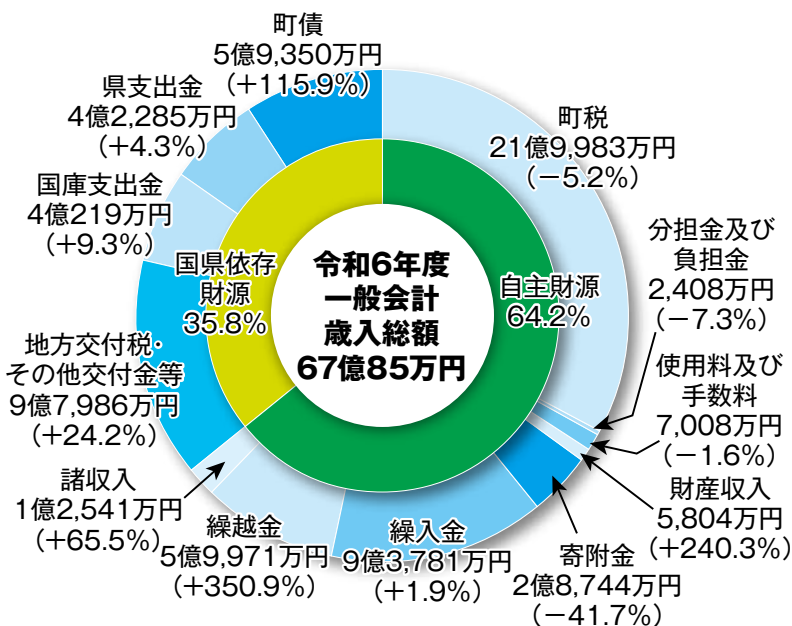
令和6年度 一般会計決算

歳入 67.0億円 (前年度比 約8億円増)

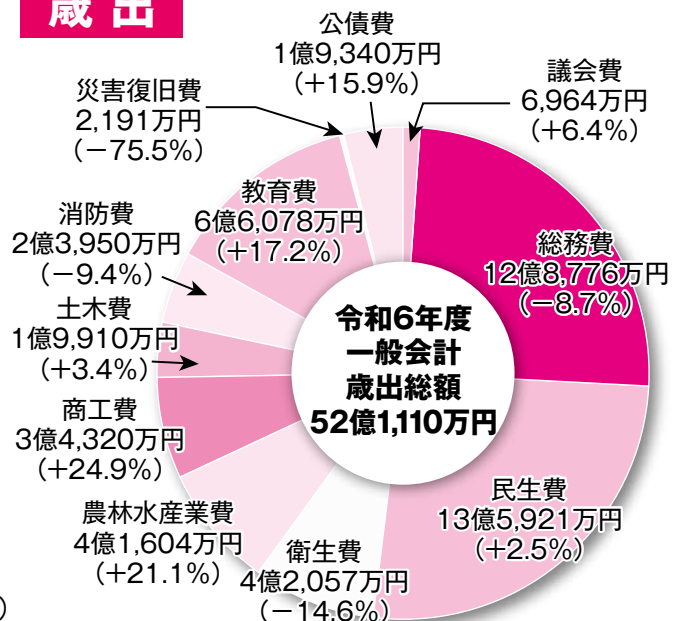
歳出 52.1億円 (前年度比 約2千万円増)

※1千万円未満は四捨五入

歳入



歳出



(※端数処理のため、総額は一致しません。)

令和6年度一般会計 歳入歳出決算について

令和6年度一般会計の歳入決算総額は、67億85万円、歳出決算総額は52億1,110万円でした。

一般会計における歳入の財源構成は、自主財源64.2%、国県依存財源は35.8%で、町債(町の借金)の現在高は34億2,384万円で、町民一人当たりで換算すると約73万円です。各会計の決算書のほか、監査委員による審査意見書や主要事業成果表などの資料を参考に、審議いたしました。

【決算認定】

歳入は、自主財源の主な財源、歳出は、主要な事業について記載しています。

【歳入】(万円未満は切り捨て)

《町税》

■町民税	【1億4,655万円】
・個人	1億2,915万円
・法人	1,740万円

■固定資産税	【20億961万円】
■軽自動車税	【2,489万円】
■町たばこ税	【1,876万円】

《寄付金》

■一般寄付(ふるさと納税)	【2億7,919万円】
〃 (企業版ふるさと納税)	【610万円】

※自主財源は、2億4,567万円増えています。が、寄付金(ふるさと納税等)が2億500万円減っています。繰越金の増額により対前年比で6.1%の収入増となりました。

【歳出】(万円未満は切り捨て)

総務財政課関係

■米良の神楽VR動画制作業務委託事業	【294万円】
--------------------	---------

中之又神楽を立体的に視聴できるVR動画にて制作し、大阪・関西万博にて動画を視聴でき

るようにし、中之又神楽の魅力を国内外に発信することができた。

■電気自動車購入事業	【277万円】
------------	---------

公用車の更新に伴い、環境負荷の軽減及び運用コスト削減のために電気自動車を購入した。

■旧江藤医院保存・利活用事業	【555万円】
----------------	---------

寄贈をうけた築80年以上の木造建築物である旧江藤医院の保存及び利活用方法について、まちづくりに活かすための事業計画を委託により作成した。

地域政策課

■第6次木城町総合計画及び人口ビジョン改定・第3期総合戦略策定支援業務	【684万円】
-------------------------------------	---------

木城町の持続可能なまちづくりを進めるとともに、子供たちにふるさとを残していくために協働によるまちづくりを進めるための第6次木城町総合計画(10年間)を策定した。

■川原自然公園交流拠点施設整備事業造成工事・解体工事	【3,801万円】
----------------------------	-----------

川原自然公園のリニューアルに向けて建物解体・土地造成を行った。

町民課

■ゼロカーボン&オーガニックフェスタ in KIJIO	【272万円】
-----------------------------	---------

講演会や親子教室等を行い町民のゼロカーボンに対する意識の高揚を図ることができた。また、同時にオーガニックフェスタを開催することで多くの来場者があった。

福祉保健課

■児童館・児童クラブ新築工事設計業務委託	【1,771万円】
----------------------	-----------

新たに義務教育学校の近くに建設予定である児童館・児童クラブの実施設により図面の作成及び建設費用の算出をすることができた。

環境整備課

■岸立団地他住宅外装塗装工事	【2,685万円】
----------------	-----------

町営住宅の外装が劣化していたため、対候性が高く低汚染性に優れた塗料を塗装することにより耐久性の向上を図ることができた。

産業振興課

■新規就農者育成総合対策事業	【375万円】
----------------	---------

新規就農者に対して経営の安定と生活支援を図ることができた。

教育課

■みどりの杜「木城学園」外構工事(3期)	【2億8,600万円】
----------------------	-------------

学校のグラウンド、駐輪場、テニスコートを整備・設置することで生徒の生活環境が整った。

■国立能楽堂公演補助金 【242万円】

国指定重要無形文化財に「米良の神楽」が指定されたことに伴い、国立能楽堂で中之又神楽を演舞することで全国の多くの方に知ってもらうことができた。

※ 主に単年度的な事業を取り上げました。そのほかに木城町の継続的な事業として、行政総合システムの利用事業費、東児湯消防などの各種負担金、定住促進事業、乗合タクシー・町営バス運行事業、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業、町内施設の指定管理料、町内商工業者支援、農業者支援事業、物価高騰対策支援、各種福祉サービス事業、各健診事業、町道・橋梁の管理事業、教育環境整備事業等の多くの事業がありますが、執行部側から説明資料をいただき審議いたしましたところ、予算の有用な利用がされているとして、決算認定いたしました。

総務常任委員会
審 査 報 告

【一般会計補正(第4号)予算(支出分)】

総務財政課

■一般補助施設整備等事業債元金償還(川原自然公園拠点施設整備事業分) 【3億100万円】

川原自然公園の整備事業が今年度に達成することが不可能となり、町債での借り入れ分を償還するものです。

町民課

■国保収納システム改修委託料増額 【52万円】

令和8年度から「子ども・子育て支援金」を各医療保険から徴収することによるシステムの改修委託。(国からの全額補助)

福祉保健課

■低所得者支援及び定額減税補足給付金

【1,777万円】

低所得者支援及び定額減税措置において令和6年度に減税しきれなかった分を令和7年度で行うものです。

産業文教常任委員会
審 査 報 告

【一般会計補正(第4号)予算(支出分)】

教育課

■みどりの杜「木城学園」冷水機設置工事

【358万円】

木城学園内に水分補給及び熱中症対策として3箇所冷水機を設置する工事です。

■木城町義務教育学校給食費補助 【345万円】

学校給食の食材高騰に伴う食材費の増額補助

環境整備課

■木造住宅耐震化事業補助金 【115万円】

木城町では平成12年5月31日以前に建てられた木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助を行っています。今回は1件分の改修補助費用の追加です。

産業振興課

■木城バイオフードプロジェクト補助金

【100万円】

黒皮かぼちゃの新品種「南九ブラックボール」有機実証栽培を活用した商品開発をするための補助。

地域政策課

■大河ドラマ「豊臣兄弟」高城合戦PR事業

【220万円】

(単位万円：千円未満切り捨て)

特別会計決算		R6 年度	R5 年度	増 減
国民健康保険事業	歳入	60,768	66,620	-5,852
	歳出	58,314	64,367	-6,053
介護保険 (保険事業、サービス事業)	歳入	79,024	77,312	1,712
	歳出	73,111	75,471	-2,360
後期高齢者医療	歳入	8,499	7,148	1,351
	歳出	8,407	7,114	1,293

(単位万円：千円未満切り捨て)

企業会計決算		R6 年度	R5 年度	増 減
簡易水道事業	収益的収入	17,055	15,217	1,838
	収益的支出	13,426	11,910	1,516
下水道事業	収益的収入	20,873	30,742	-9,869
	収益的支出	19,271	28,709	-9,438

令和7年 第7回木城町議会定例会

◆全員賛成で認定・可決・同意・適任とした議案

◇令和6年度木城町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
◇令和6年度木城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇令和6年度木城町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇令和6年度木城町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇令和6年度木城町簡易水道事業会計決算認定について	認定
◇令和6年度木城町下水道事業会計決算認定について	認定
◇令和6年度木城町簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
◇令和6年度木城町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
◇木城町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	可決
◇木城町災害時避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について	可決
◇職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
◇木城町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
◇木城町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
◇木城町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
◇令和7年度木城町一般会計補正予算（第4号）	可決
◇令和7年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
◇令和7年度木城町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
◇令和7年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
◇財産の取得について（木城学園情報機器購入）	可決
◇財産の取得について（子ども交流センター備品購入）	可決
◇教育委員会委員の任命について（倉永慎一氏）	同意
◇人権擁護委員候補者の推薦について（中井裕子氏）	適任
◇令和7年度木城町一般会計補正予算（第5号）	可決

第3弾 議員のプライベートを公開します。今回は、中武議員と後藤議員を紹介します。

中武 良雄 議員



- ① 趣味……………スポーツ
- ② 好きな食べ物…おはぎ
- ③ 座右の銘 ……「初心忘るべからず」
- ④ 尊敬する人物…両親
- ⑤ 休日は何をしていますか
ソフトボール、ゴルフ、実家と我が家の周りの手入

後藤 和実 議員



- ① 趣味……………旅行
- ② 好きな食べ物…魚料理（特に刺身）
- ③ 座右の銘 ……「継続は力なり」
- ④ 休日は何をしていますか
休日も働いてます（酪農）



一般質問に対する懲罰の違法性について

答 判断を尊重すべきものと受け止めている

問 令和5年12月定例議会で高レベル放射性廃棄物の持込に関する町の姿勢について一般質問を行った。これは、町民の安全・環境保全に関わる重要課題として、町長の見解を問うものであった。しかし、私を除く8名の議員により「無礼な言葉を使用し、議会の品位を貶めた」との理由で、明確な根拠もないまま出席停止1日の懲罰処分が科された。この処分に対し、私は県知事に審査請求を行い、結果として出席停止処分の違法性が認められ、処分取消しの審決が下された。この一連の経緯を町長はどう受け止めているか。

答 町長

自治体の議会の懲罰決議の適否については、行政権限の及ばない議会の事実に判断という面があることから、議会の懲罰決議が違法であったという県知事の審決判断については、同じ行政機関の長として尊重すべきものと考えている。

問 審決に関わる弁護士委託費用132万が町民の税金から支出されているが、違法な出席停止処分を科した8名の議員に対して返還を求める考えはないのか。

答 町長

議員及び議会間の争訟として議員から審査請求された事案である以上は、公的機関の木城町議会に対してなされたものについては当然の支出であると理解している。

RSウイルス感染症対策における高齢者への補助制度の拡充について

問 妊婦向けの補助制度がある中で重症化リスクの高い高齢者や慢性疾患のある町民に対してもワクチン接種助成を行うべきではないか。

答 町長

RSウイルスは2歳までにほぼ全員が感染すると言われており、妊婦期の接種が最も効果的とされている。現時点では高齢者や慢性疾患のある方への助成は考えていない。今後は、感染症に関する正しい理解と予防意識の啓発を広報等で改めて行いつつ、科学的根拠(エビデンス)に基づいた対応を重視しつつ、住民への情報提供や意識づけを行っていききたい。

川原ダムの堆積土砂の危険性について

問 線状降水帯の発生頻度が年々高くなり、豪雨災害の危険性も増している。その様な状況の中、川原ダムに畜積された土砂の影響で近隣の住宅が浸水する危険性も増すと考えられるが、どの様に認識しているのか。

答 環境整備課長

令和5年に地元と九州電力で協議がなされ、土砂除去について検討していくとの回答を頂いていると認識している。今回、九州電力には土砂撤去の要望を改めてお願いした。現在、関係機関との調整を行っており、鋭意検討中との回答があった。



防災減災での防災士の状況について

答 減災につながる防災士の役割は大きい。

問 町での資格認証の状況は。

答 総務財政課長

4月末で84名。男性66名、女性18名です。

問 県防災士ネットワーク登録人数は。

答 総務財政課長

6名です。

問 防災士を中心に活動している地域はあるのか。

答 総務財政課長

8自主防災組織の内5組織活動中です。

問 防災士と連携した取り組みは。

答 町長

消防団、福祉団体、福祉機関等と進める。

答 総務財政課長

インクルーシブ防災事業を通じ進める。

問 認証資格者を木城町防災士として任命しては。

答 町長

必要であり、今後検討する。

問 町と災害時応援協定の事業者は。

答 総務財政課長

8月末で46件。物資、物品の供給、施設の提供、技術、インフラ復旧への支援内容です。

熱中症対策について

問 通学や運動での赤白帽子日よけフラップ付帽子の活用は。

答 町長

財政事情に配慮し取り組みたい。

答 教育長

気温上昇には有効であり検討を進める必要がある。

問 テニスコート後方に日よけ設置はできないか。

答 教育長

多額の費用がかかる。費用対効果や柔軟性を考慮し検討したい。

問 野球、サッカー等でのミスト装置の購入はできないか。

答 教育長

必要性は理解している。コストを考え

慎重な検討が必要です。

問 町体育館上部の送風機を利用した冷氣システムはできないか。

答 町長

設置費用、ランニングコストを含め慎重に検討したい。

問 暑さから命を守る木城学園の取り組みは。

答 教育長

帽子、日傘、アイスリング、冷却アイテム、水筒等指導している。

問 暑い中での遊具指導は。

答 教育長

酷暑での使用指導はしている。

交通安全とヘルメットについて

問 ヘルメット補助金利用状況は。

答 総務財政課長

令和6年10月～3月で23世帯27件。4月～8月末で11世帯12件。

問 木城学園での交通安全指導状況は。

答 教育長

自転車安全集会、交通安全教室、安全パレード、地区学園生集会を通じやっている。

問 実際、自転車を使用した安全指導は。

答 教育長

後期7・8・9年生ではやっている。前期課程での指導も検討させたい。

問 学年により自転車の行動範囲は。

答 教育長

学園では、1・2年生は自宅周辺、3・4年生は地区内、5・6年生は校区内利用を促している。

問 安全意識の向上からヘルメットの有無の調査と考えは。

答 教育長

指導や家庭への呼びかけ、保護者と共に推進していく。

令和5年度からの川原公園改修工事の進展は。

答 今年度中に開園できず深くお詫び申し上げます。



問 川原公園改修工事について

令和5年度から計画が進められている川原公園改修工事について、今年度2度にわたる入札不調に至った経緯と令和6年度は、なぜ入札がおこなわれなかったのか。

答 町長

今年度の入札不調により工事発注ができず、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。改めてスピード感をもって、工事改修の内容等を精査した上で新しい交付金の事業採択に向けて取り組む。

答 地域政策課長

令和6年度に交付金を繰り越して工事を実施する予定だったが、資材や物価高騰の影響で令和6年度の事業実施が困難になった。

問 今後の改修工事の計画や、設計の見直しは再度おこなっていくのか。また、工事発注のやり方について分離・分割発注は考えていないのか。

答 町長

総合的に勘案して、ベストな形で入札方法をとっていく。

答 地域政策課長

地域の資源を活用した観光振興や住民の憩いの場としての役割強化に加え、交流人口や関係人口創出を目的とした本町の魅力向上を目指す。

答 環境整備課長

工事の積算に関しては、物価高騰や働き方改革を含めた適正な市場価格が反映できるように積算をおこなう。

問 国からの交付金約6億3,800万円は今後どのように使われていくのか。一部解体工事等が執行されているが、この交付金は使われたのか。

答 地域政策課長

交付金6億3,893万4,000円のうち、旧施設の解体工事で1,599万1,182円の交付を受けている。残りの金額については、国に請求をしない。

木城学園の生徒の転入・転学について

問 教育委員会は検証をおこなっているのか。

答 教育長

個々の事例を把握して一定の検証はおこなっている。転学はスポーツ競技力の向上を図るための理由が多い。

問 今年度から転入促進事業が展開されているが、実績はどうか。

答 教育長

促進事業を3件が利用している。

消防団活動について

問 消防団本部のポンプ車は購入をして25年が経過しているが、更新の予定はないのか。

答 町長

特殊車両については、金額が高騰していて補助事業や支援措置のある事業で検討をしていく。

問 昨年的一般質問で、消防団員の活動中に自分の車両が損害に遭った場合の補償について質問したが、その後の進展は怎么样了のか。

答 総務財政課長

検討を進めているが、県内の自治体では1つの自治体しか加入しておらず、実績に関する検証が難しい。

議会広報特別委員会調査研修 (報告書を一部抜粋)

■日 時:令和7年6月26日～27日

■研修先:福岡県 大野城市議会
福岡県 大刀洗町議会

■参加者:矢野哲也委員長、中武良雄副委員長、桑原勝広委員、甲斐政治委員

■研修目的:議会広報誌の編集、発行の取り組みについて

■研修内容

1 大野城市議会:6月26日(木)

■意見交換

編集については、タイトルの文字数を20文字以内として、分かり易い見出し作りに取り組んだり、1議員1つの大項目を広報に載せて、あとはQRコードにて本人の一般質問が全て動画で見られるような工夫をしていた。

また、市民から作品募集をし「作品紹介」として、毎回市民からの俳句・川柳・短歌・絵画などの作品を掲載し、市民に広報誌に興味を持たせようとする取り組みをしていた。



2 大刀洗町議会:6月27日(金)

■意見交換内容

議会報の作成の根底には議会活性化と連動し、地域住民の声を生かす、住民との対話を起点とする政策サイクルを確立し、議会改革を進める活動の1つとの考えがある。

議会モニター制度という仕組みを作っており、議会モニターを設置し町議会運営等に関し、町民からの要望、意見を広く聞き、広報も含め議会運営等に反映させている。



最後に広報誌の作成は毎回、どれも苦労があるとおっしゃっていたが、それを楽しんでいる感がありました。

■研修まとめ

今回、福岡県大野城市議会、福岡県大刀洗町議会の広報編集委員会を訪問し、研修先の議会だよりの編集方法や配慮している点を聞くほかに、本町の議会だよりを見て意見をいただきました。両町ともに活発に編集委員の活動や編集、住民参加を促す等様々な議会だよりの作成対する取り組みを研修できました。

最後に改めて広報紙の持つ意義と可能性、編集の難しさを再認識した研修であり、この研修を生かし、より一層、町民に関心を持ってもらえるような広報紙の作成に努めていきたい。



総務常任委員会調査研修 (報告書の一部抜粋)

- 日 時:令和7年7月15日～17日
■研修先:山形県西川町、宮城県南三陸町
■参加者:荒川浩 委員長、中武良雄 副委員長、
甲斐政治 委員、眞鍋博 委員
■研修目的:西川町…自治体の新たな財源
確保について
南三陸町…大規模災害における
議会議員の果たす役
割について

1 西川町:7月15日(火)(中止)

2 南三陸町:7月16日(水)

■意見交換

1960年のチリ地震の津波の教訓を受け、津波の高さ5.5m、震度7に耐えられる構造であった。しかし、結果的に16.5mの津波が来たと検証されている。

防災庁舎で指揮・対策をとっていた41人が犠牲になった。人的被害は死者620人、行方不明者211人にのぼり、建物の全壊及び半壊、大規模半壊は全世帯数の61.94%に及んだ。

被災後はすべての面で大変だった。遺体の火葬や車移動の燃料は我慢できるが、特にトイレが一番大変だった。

議員が全員集まったのは震災後、10日目ぐらいであった。それまではそれぞれの地域で行動していたようです。

議会として災害対策は講じていなかったが、議会災害対応指針、議会災害対策会議設置要綱、議会災害対策行動マニュアルを策定したとのことでした。



■現地見学

南三陸311メモリアル、南三陸町震災復興記念公園を語り部の方に案内してもらい、津波の大きさを感じたところでした。



(被害を受けた防災庁舎)

■研修まとめ

「自分の命は自分で守る」、「より早く、より高い所に避難する」との言葉が耳に残りました。まずは自分の命を守るべき行動をとってもらえるように避難所への経路や物資の確保などを徹底して行える体制づくりが必要であると考えます。

また、定期的な避難訓練や啓発活動を行うことで町民の危機管理能力を向上させることも大事である。

想定外のことを想定するのは大変難しいことであるが、南海トラフ巨大地震の想定範囲内である本町の被災を最小限に食い止めるとともに災害関連死を出さないためにも、大災害後の議会の活動について今後も協議していく良い研修となりました。



議会活動報告

6月

- 6日～12日 第5回木城町議会定例会 (全議員)
- 22日 新田原基地「葬送式」 (議長)
- 25日 木城町畜魂祭 (議長)
- 2025原水爆禁止国民平和行進
- 宮崎県実行委員会要請訪問 (議長)
- 第81回国民スポーツ大会
- 第2回木城町実行委員会総会 (議長)
- 26日～27日
- 議会広報編集特別委員会調査研修 (議会広報編集特別委員)
- 30日 議会運営委員会 (議会運営委員)
- 第6回木城町議会臨時会 (全議員)
- 議会広報編集特別委員会 (議会広報編集特別委員)
- 高鍋・木城衛生組合臨時会 (副議長、総務常任委員長、議会選出監査委員)

7月

- 1日 議会全員協議会 (全議員)
- 議会広報編集特別委員会 (議会広報編集特別委員)
- 第75回「社会を明るくする運動」
- 木城町推進委員会 (総務常任委員長)
- 7日 令和6年度県道東郷西都線整備促進期成同盟会監査 (議長)
- 8日 第226回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会 (議長)
- 議会広報編集特別委員会 (議会広報編集特別委員)
- 9日 民生委員一斉改正に伴う民生委員推薦会 (総務常任委員長)
- 航空自衛隊新田原基地周辺協議会 (議長)
- 農業委員の次期改選における農業委員等への女性の積極的な登用に関する要請活動 (議長)
- 10日 議会広報編集特別委員会 (議会広報編集特別委員)
- 11日 児湯郡(市)町村議会議長会議員研修会 (全議員)

- 14日 西都児湯環境整備事務組合議会臨時会 (議長、総務常任委員長)
- 一ッ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団議会臨時会 (議長)
- 宮崎県東児湯消防組合議会臨時会 (議長、総務常任委員長)
- 議会全員協議会 (全議員)
- 15日～17日 総務常任委員会所管事務調査 (総務常任委員)
- 18日 令和7年度高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会他 (議長)
- 23日 宮崎県町村議会議長会議会運営委員会正副委員長研修会 (議会運営委員会正副委員長)
- 25日 被爆80周年・原水禁九州横断平和行進 (議長)
- 第41回木城町肉牛枝肉共励会表彰式・懇談会 (議長、産業文教常任委員長)
- 29日 高鍋・木城衛生組合監査 (議会選出監査委員)
- 高鍋地区交通安全協会木城支部総会 (議長)

8月

- 1日 議会全員協議会 (全議員)
- 5日 令和7年度県道東郷西都線整備促進期成同盟会総会 (議長、産業文教常任委員長)
- 6日 児湯郡(市)町村議会議長会定例会 (議長)
- 7日 新田原基地F-35B配備見学 (基地対策特別委員会正副委員長)
- 8日 宮崎県町村議会議長会正副議長研修会及び地方行政問題協議会 (正副議長)
- 15日 令和7年度戦没者供養祭 (全議員)
- 20日 宮崎政経懇話会6会場合同特別講演会 (副議長)
- 22日 新田原基地副司令就任あいさつ (議長)
- 26日 令和7年度宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会 (議長、産業文教常任委員長)
- 西都児湯森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会議役員会、総会 (議長、産業文教常任委員長)
- 28日 令和7年度木城町の農業を考える懇談会 (議長、産業文教常任委員会)
- 29日 児湯郡(市)町村議会議長会県知事、県議会議長要望活動 (議長)



まちの話題



町内で新たに開業したお店を紹介します。

チル ラボ ジャムズ
Chill Lab. Jams



お仕事の内容：主にドライヘッドスパを行っています。

その他に脱毛・養育毛、フェイシャルエステも行います。

店主：永友綾香

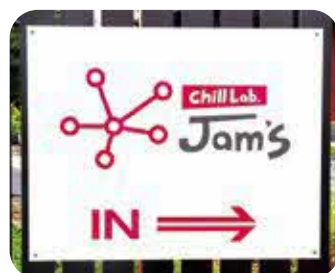
営業時間：定休日は毎週水曜日。土・日が不定休となります。

場所：比木地区の黒木組（実家）の奥にお店を構えています。

連絡先：080-1796-2758

ご予約は、電話又はインスタグラムでお願いいたします。

開店理由：生まれ育った大好きな木城町のみんなを元気にしたいから。



ひとこと

頭痛、肩こり、不眠症の方はぜひ一度ご来店ください。 ※「みんなは誰かの宝物♡」

議会傍聴をしてみませんか！



次の議会定例会は**12月**です。

定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

TEL 0983-32-2213 (直通)

議長 眞鍋 博	発行責任者	委員長 甲斐 政治	委員長 桑原 勝広	副委員長 中武 良雄	委員長 矢野 哲也	編集委員
------------	-------	--------------	--------------	---------------	--------------	------

木城町ホームページに議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。

〈URL〉 <https://www.town.kijo.lg.jp>



木城町 HP



木城町議会 HP

議会傍聴メーター

2025年4月議会から
議会傍聴に来られた人数です。

0 2 0